

メスゴリビッチ

水着ジャンヌさん



最近^{グラン}団長が私とSEXしてくれない…
原因はわかっている。近頃新たな力に目覚めた
アルルメイヤに今は四六時中構いつばなしだからだ。
『おっ♥おっほおお♥♥♥団長っ♥もう許してくれっ♥♥♥
ハーヴィンの体にはヒューマンのチ●ポのサイズでも
もういっぱいっばいなんだっ♥♥♥♥♥
その上子宮は団長のチンポ汁でもう満杯だっ♥♥♥♥♥
これ以上は胃袋にもケツ穴にも入らないっ♥♥♥♥♥
壊れるっ♥♥♥壊れてしまおうっ♥♥♥♥♥』

そして欲求不満にたえられなくなった私は
他の団員を見習って、他の雄を漁りに海へ出た。
コルワヤソーン、ヘルエス達が軽薄そうな男達に
連れられてどこかへ行くのが遠目に見える。
全く：釣った魚に餌をやらないから
ああやって碌でもない男達に浮気ま●こ
されてしまうんだ…

団長の部屋の前に行くくと漏れてくる
アルルメイヤの牝の声…羨ましい。
私が新しい力に目覚めた時はこのバキバキの腹筋が
はち切れそうになるくらい精液を注ぎ込んでくれたのに…
新しい玩具を手に入れるとそればかりに夢中になってしまっ
団長の悪い癖だ…彼にハメられたい牝は山程いるのだから
もう少し、団長のチ●ポ中毒になった他のおま●こ穴にも
目を向けて欲しいものだ。

ふふ…♥わかっている♥♥
団長は浮気SEXした後、その行為を
牝に告白させながら浮気してきたま●こに
ハメるのが大好きな、困った性癖を持った
男だからな…♥♥
私も楽しみだよ…♥ 団長以外のち●ぽも
その後の嫉妬に狂ったバキバキち●ぽも…♥♥



「うわ…すげ…なんだあれ」
（ふふ…♥見ている…♥見られている…♥）
「このような穴あき水着を着て、二目で『SEXするため海に来ています』とわかるような格好をしても、なかなか男に誘われないのはメスゴリラ体型の哀しい所だ…」

ほうら♥腋ま●このサービスをしてやるぞ♥♥
どんなインポでもニ嗅ぎでち●ほのおっ勃つ汗と牝の臭いでムンムンの蒸れ腋だ♥♥

「しよっぱくって酸っぱくって思わず孕ませたくなるほど癖になると団長には大好評の臭腋だぞ♥♥」

ふー
ふー

ちゅ
ちゅ

ちゅ

ちゅ
ちゅ

あは

俺は無理っす…

さあ、いつでもいいぞ
この筋肉ま●二にハメてくれ♥
ギユウギユウに締め付けられるから
ち●ほに自信がなくても大歓迎だ♥
デカち●ぼな事に越したことはないが
今はどんなち●ほでもいい気分なんだ
どろどろの汗だくSEX
しようじゃないか♥♥

…え？ 食いちぎられそう？
このチキン共がッ

ニ
ニ

ム
ム

ム
ム

ム
ム

ほ

その後：私の事を情熱的に
見つめていた、どこか少しだけ
団長に似ているドラフの少年を
岩場の陰まで半ば無理やり
連れ込んだ。

「お、お姉ちゃん：ほ、ボク：っ」
「わかってる♡私とおま●三
したいのだろう…？」
全私に任せておくといい♡♡」

「ああ：股間をそんなに
膨らませてその歳で
こんな筋肉女が
好きなのか：ふふふ♡」
「あうう…」

年齢の割に立派な、
だけどもにやりと芯が
弱いのが特徴の
ドラフのち●ほ…
皮が被っているのが
年相応で可愛い。
私がチンカスをしつかり
掃除してやろう♡

「んっ♡んもおっ♡♡」
「うあっ あああっ」
じゅるるっ♡れるれる♡
「はあ♡はあ♡なんて
苦しよっぱくで臭っさい
チンカスなんだ♡♡」

「ん、ごめんなさい…っ
お姉ちゃん…っ」
「？謝る事はなにもない♡
私は君のようなシヨタち●ほの
熟成されたチンカスが
大好物なんだ♡♡」
じゅろろ♡じゅーっ♡
ちゅほちゅほ♡♡
「もつと食べさせてくれ♡
包茎皮の裏の臭エロチーズ♡♡」

あうう

「ひっ。溶けるっ。
お姉ちゃんの口の中で
ボクのちんちんが
溶けちゃうよおっ♡♡」
「こら逃げるな♡
ち●ほがじゃぶり難いだろう♡
いや、むしろ犯している感じが
増してむしろ燃えてくるな♡
もう少し強く抵抗して
みでくれ♡♡」
「じゅろろろろろろっ♡♡」







ふーっ

ふーっ

ふーっ

ふーっ

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ちんちん

ふーっ

ふーっ

あは

ふーっ

ふーっ

ふーっ





